順天堂大学
先導的がん医療開発研究センター

2012 創刊号

Leading center for the development and research of cancer medicine

ニュースレター

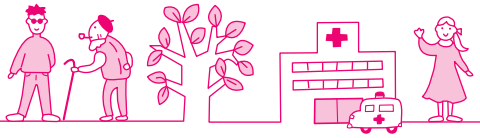
順天堂大学 学長 木南 英紀

ご挨拶

文部科学省の「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」に公募していた本学を主幹とする7大学連携の取り組みである「ＩＣＴと人で繋ぐがん医療維新プラン」が採択されました。

がんは、わが国の死因第一位の疾患であり、国民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状から、「がん対策基本法」が制定（H19.4 施行）されました。この基本法の中で、がん医療に携わる専門的な知識・技能を有する医師その他の医療従事者の育成が求められています。平成19年から本年3月まで施行された文科省事業「がんプロフェッショナル養成プラン」において、本学は「がん生涯教育センター」を大学院医学研究科に設置し、大学院において質の高いがん専門家を養成する研究教育拠点の形成を重点的に支援し、大学院教育の活性化と今後のがん医療を担う医療人の養成を行い、がん医療の底上げに貢献してきました。

今回の「ＩＣＴと人で繋ぐがん医療維新プラン」では、全国のがん患者に均等に医療者養成の成果を還元し得る臨床の連携、基礎と臨床が協働する医薬看理工連携を課題としております。順天堂大学に「先導的がん医療開発研究センター」を整備し、これを拠点として地域医療を担っている東北の岩手医科大学、山陰の島根大学、鳥取大学と首都圏の本学との医科大学系コンソーシアムと理薬工学系大学の東京理科大学・明治薬科大学・立教大学とを循環型人材交流とＩＣＴで繋ぎ、さらに国立がん研究センター、理化学研究所や海外の協定大学との教育研究協働を強め、連携と補完による強固なネットワークをつくり、がんの診療現場のニーズを知り、シーズを生む研究環境、大学院教育環境を創生します。ここから、がん診療を実践する専門医療職の養成、医療現場に還元できるがん研究・開発、地域のがん医療に医療維新を引き起こしていきたと考えております。

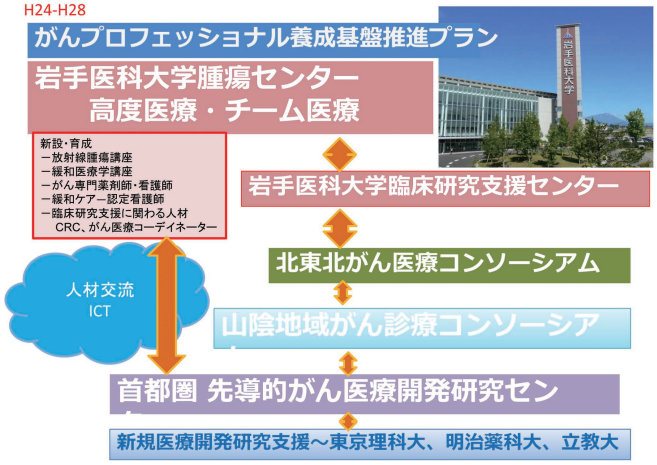


連携大学紹介

岩手医科大学

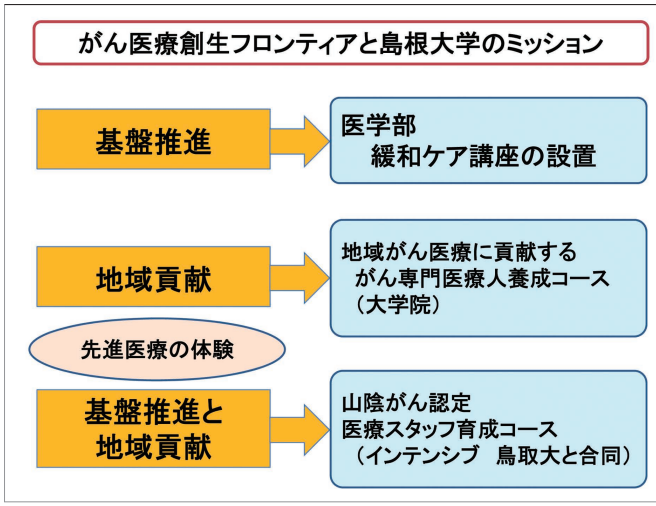
人とICTで繋ぐ地方と地方、地方と首都圏：岩手医科大学でのがん医療維新

岩手医科大学　杉山 徹
（医学部 産婦人科学教室　教授）



本プランは、“絆”をkey wordに人の循環とICT下にがん研究開発拠点、国際化拠点と地域力の３つの歯車を回す。岩手医科大学では放射線治療や緩和ケア関連の講座を新設し、がん治療認定医・がん薬物療法専門医、がん専門薬剤師・看護師、緩和ケア―認定看護師の医療職育成を加速する。一方、東京・神奈川・千葉・埼玉と同等の県土、岩手県でのがん医療の「均てん化」に不可欠なスキルミクス指向型の人材育成のためにインテンシブコース「先導的がん臨床研究に精通した医療人育成」を開講して、がん医療に携わるコーデイネーター等の養成にも着手する。北東北3県の医療機関、医師会、行政と共同した「北東北がん医療コンソーシアム」の中で育成したがん専門医療人の交流を深化させ、岩手県でのがん医療の均てん化の促進に繋げる。岩手医科大学腫瘍センターと整備の緒についた臨床研究支援センターを基盤として既存の岩手医療情報ネットワークや震災復興計画として進んでいるICTを活用した岩手県診療連携と密なネットワーク構築を図る。国際的感覚育成の観点より日・欧米がんセンターと連携した研修や海外学会での発表も支援する。がん医療の均てん化を目指して臨床研究の拠点化・ネットワーク化も図り、CRCなどの支援下に国が進める次世代がん研究戦略推進プロジェクトとも連携してリバースTR研究を促進し、イノベーションの実現を目指す。文化等異なる地域「山陰地域がん診療コンソーシアム」と「北東北がん医療コンソーシアム」、そして首都圏の「先導的がん医療開発研究センター」が人とICTで繋がれば医療維新と位置付けるプロダクトが生まれる。

島根大学



がん医療創生フロンティアと島根大学のミッション

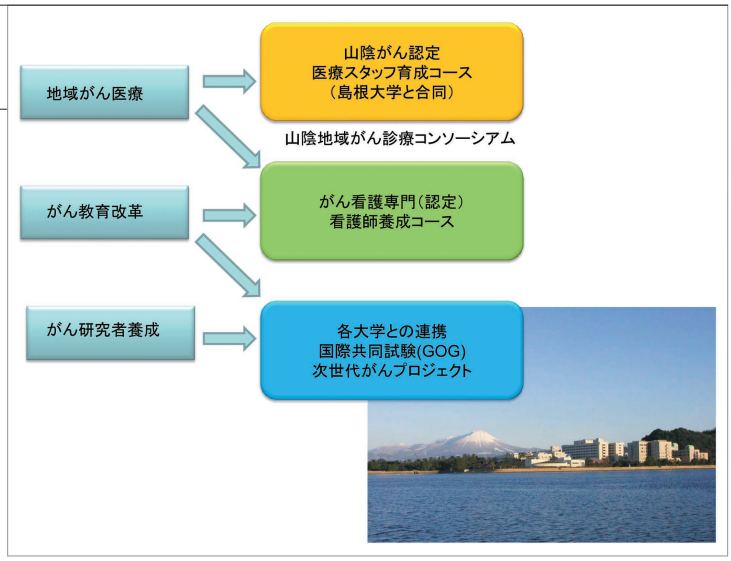
島根大学　礒部 威
（呼吸器・臨床腫瘍学　教授）

島根大学ではH19年度に開始されたがんプロフェッショナル養成プランで、専門医育成体制の整備と山陰地区での地域ネットワークの構築に取り組んできました。今回のがんプロでは、その基盤を充実する目的で医学部に緩和ケア講座を設置し、「地域貢献」をテーマに新たな事業を、順天堂大学を中心とした枠組みで推進していきたいと思います。今回大学院に新たに設置する「地域がん医療に貢献するがん専門医療人養成コース」では、地域に多い高齢者がん医療に精通し、地域連携を推進し、地域貢献のマインドを有する全人的ながん診療専門医を養成すると共に、リサーチマインドを有し、臨床試験を計画し、山陰地区からエビデンスを発信できる人材を育成します。また、山陰全域の日常的がん治療水準向上を目指し、その共通基盤となる臨床腫瘍学の知識・基本技術に習熟し、医療倫理に基づいたがん治療を実践する優れた医師及びメディカルスタッフの養成と認定を行う目的で、地域がん診療ネットワークの強化と山陰全域のがん診療の均てん化を図る、斬新的な「山陰がん認定医療スタッフ育成インテンシブコース」を設置しました。皆様と共にがん医療創生フロンティアとしての使命を果たしたいと思います。

鳥取大学

がん医療維新をめざすICT研究教育プランにおける鳥取大学のミッション

鳥取大学　紀川 純三
（医学部附属病院がんセンター　センター長・教授）



鳥取大学医学部は、医学科、生命科学科、保健学科の三学科からなり、「お互いに連携を取りながら、生命の尊厳を重んじるとともに創造性に富む医療人や生命科学者を養成する」ことを理念として、地域医療への貢献や研究者養成を行っています。平成19－23年度の“がんプロフェショナル養成プラン”では島根大学・広島大学と連携し、薬物療法専門医をはじめとするがん専門医やがん看護専門看護師を養成し、がん専門職の増加を図ることができました。一方、専門医の偏在と放射線物理士などのコメディカル専門職の不足が依然解決すべき問題としてあります。“がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン”では、順天堂大学を中心とした「がん医療維新をめざすICT研究教育プラン」に参画して、専門医の地域への定着、コメディカル専門職の育成、さらには国際的に活躍できるがん研究者の養成を目指したいと思います。そのためには、地域のがん医療機関との連携強化、医師やコメディカル専門職に対する国内外への派遣を含めた研修、各大学との共同研究の推進が必要です。鳥取大学は全力でその役割を果たす所存です。よろしくお願いします。

シンポジウム開催報告

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン キックオフシンポジウム**「がん医療維新をめざすＩＣＴ研究教育プラン」**を6月18日、順天堂大学センチュリータワー801教室にて開催しました。
本学 小川 秀興 理事長の開会挨拶をはじめ、今年度より連携協力をおこなった国立がん研究センター 所長 中釜 斉 先生に「発がん研究と予防戦略」について、公益財団法人がん研究会有明病院 院長 門田 守人 先生に「医療人に求められる複眼的思考」と題し、がんトピックスの基調講演を頂きました。また、今年度より連携7大学となり、新たなる船出として各大学の取り組みをコーディネータの先生方より発表いただき、パネルディスカッション形式でおこないました。
岩手医科大学 小川 彰 理事長をはじめ、連携大学より多数の参加があり、大盛況となりました。多大なるご協力を頂きました関係者の皆さまに、心より御礼申し上げます。

情報コーナー

報告

下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

● **第９回市民公開講座「高度がん治療を目指して」**

2012年6月30日（土）順天堂大学本郷キャンパス有山記念講堂

今後のスケジュール

第３回「次世代の環境発がんを考える会」公開シンポジウム（後援開催）

「中皮腫の早期診断と新規治療法の開発」

2012年8月1日（水）　順天堂大学本郷キャンパス10号館 1F

東京理科大学 第28回 薬学講座

2012年10月20日（土）10：30～17：00（10：00開場）

東京理科大学神楽坂校舎1号館17階（記念講堂）

編集後記

『文科省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業「がん医療維新をめざすICT研究教育プラン」』キックオフシンポジウム（主催：順天堂大学/ 岩手医科大学/ 島根大学/ 鳥取大学/ 東京理科大/ 明治薬科大/ 立教大学、後援：読売新聞/ 毎日新聞）が順天堂で開催された。満員の大盛況であった。「次世代のがんプロに期待するもの」、「がんトピックス」、「各大学の役割意識」は、「レベルの高い格調と品性」があった。「がんトピックス」での「国立がん研究センター研究所長」&「公益財団法人がん研究会有明病院長」の「思いやりのある」ご講演は、会場に大きな華を添えた。「各大学の役割意識」では、「本プロジェクトの目標とビジョン」が明確にされ、「有言実行」の決意を感じさせるものであった。筆者は、「次世代のがんプロに期待するもの」での講演の機会が与えられ「教育・臨床・研究」の「歴史的理念」をさりげなく語った。また、パネルデスカッション「各大学の役割意識」の司会を務め、大いなる学びの時であった。

編集長・広報委員長 樋野 興夫

順天堂大学先導的がん医療開発研究センター
順天堂大学がん生涯教育センター
〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

編集　順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン　広報委員会
発行　順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン